

## 安全保障研究部会 第9回 勉強会開催報告

平成28年3月26日

3月19日、市ヶ谷の日本大学会館別館2別館において、当日本国際情報学会の安全保障研究部会の第9回勉強会を開催しました。その概要を報告致します。

日時 平成28年3月19日（土）

場所 市ヶ谷日本大学会館第2別館4階会議室

### 【研究発表】

#### (1) 宮田 敦司 「北朝鮮における論文とは」

論文の定義を俯瞰し、北朝鮮における各種の論文を例に内容、構成について解説があり、北朝鮮における論文の特徴と目的について発表があった。加えて、資料として北朝鮮で発行されている論文集の一覧が示され、自然科学系論文と社会科学系論文の差異について言及した。

#### (2) 岡田 忠 「公的身分証明書の身分偽りに関する一考察 ～身分証明の偽り防止のためにどうすればいいのか～」

我が国では公的な身分証明証として、運転免許証、パスポート、健康保険証などがあり、外国人の滞在でもいくつかの証明証があること、身分証明書の確認方法の実態について発表があった。

加えて、犯罪やテロの目的で身元偽装や証明証の不正使用、証明証の偽造の事例とその手法について解説があった。また、この身元偽装や証明証の不正使用、証明証の偽造を防止すること自体がテロ対策として重要であること、その防止の施策について発表があった。

#### (3) 佐々木 孝博 「サイバー空間における露中の軍事協力 ～露中サイバーセキュリティ協定を中心に～」

2015年5月8日、ロシアと中国は「サイバーセキュリティ協定」に署名した。この協定の概要と脅威認識、協定における2国間協力の内容、協定を通じた露中の狙いについて発表があった。加えて、本協定と両国の核戦略との類似性に関して言及した。

(4) 乾 一字 「これからの世界と日本 ～シリアを中心とする中東情勢～」

乾顧問より、昨年12月「これからの世界と日本」と題し、長期・中期・短期の情勢見積から大変化の時代へ突入した現在の国際情勢を分析し発表いただいた。今回は、基本となるイスラム教とその宗派、大帝国であったイランとトルコの歴史、現在のイラク、シリア、IS、クルド人、サウジアラビア、イスラエルの関係について説明していただき、シリアを中心とする中東情勢についての分析を発表いただいた。

【総評】

研究部会員から幅広い分野における研究結果の発表を得て、部会員の安全保障に関する情勢認識がより高まった。

